

2021年度和歌山県立医科大学保健看護学部入学者選抜試験について（予告）

平成 31 年 1 月 31 日

令和 元年 9 月 30 日（追記）

令和 元年 12 月 12 日（赤字修正）

公立大学法人和歌山県立医科大学
保健看護学部

本学部では、「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（平成 29 年 7 月 13 日付け文部科学省通知）」を踏まえ、学力の 3 要素（※1）を評価することができるよう 2021 年度入学者選抜試験（2020 年度実施）を次のとおり実施します。

なお、今後、文部科学省及び大学入試センター等の大学入学者選抜に係る予告が変更になった場合、本学部の入学者選抜試験内容も変更する可能性があります。

令和元年 11 月 1 日に文部科学省から、英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りの発表があり、更に「令和 3 年度大学入学者選抜に係る大学入試英語成績提供システム運営大綱の廃止について（令和元年 11 月 15 日付け文部科学省通知）」を受け、本学部では、英語の認定試験の取扱いを次のとおりとします。

すべての入試区分において、英語の認定試験を課しません。また、出願資格としても利用しません。よって、英語の認定試験に関する事項を削除します（赤字箇所）。

※1 学力の 3 要素…

- ①知識・技能
- ②思考力・判断力・表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

1. 入試区分名称の変更

入試区分の名称を次のとおり変更します。

変更前	変更後
一般入学試験	一般選抜
推薦入学試験	学校推薦型選抜

2. 入試区分・募集人員について

平成 31 年度（2019 年度）入学者選抜試験（以下「現行の入試」）と変更ありません。

3. 試験内容について

(1) 一般選抜（前期日程）

- ・ 現行の入試と同様に、二段階選抜を実施します。実施内容に変更はありません。
- ・ 大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストを利用します。教科・科目は、現行の入試と同様に、5教科・5科目または6科目を課します。
- ・ 大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。

国語……………「国語」必須

地理歴史・公民…「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、
「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目

数学……………「数学I・数学A」必須

理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から2科目

または

「物理」、「生物」、「化学」から1科目

外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

- * 地理歴史・公民、理科（基礎を付さない科目）の各教科で複数科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。（地理歴史・公民及び理科の取扱いは現行の入試と変更はありません。）
- * 国語と数学については、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。
- * 国語の記述式問題については、段階別成績表示を点数化し、マークシート式問題の得点に加点します。
- * 数学の記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。
- * 英語は、現行の入試と同様に、筆記及びリスニングを課します。

~~・ 英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。~~

~~出願資格は、文部科学省が公表しているCEFRの段階別成績表示による対照表のA2以上とします。~~

~~対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。~~

~~成績の確認は、大学入試センターが運営する「大学入試英語成績提供システム」（以下「成績提供システム」）を利用します。~~

~~成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。~~

~~※2 英語の認定試験…大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験~~

- ・その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- ・個別選抜は、現行の入試と同様に、小論文と面接を課します。小論文では論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題の出題を予定しています。
- ・出願書類は、現行の入試と同様に、「調査書」の提出を求め、合否判定に活用します。

(2) 一般選抜（後期日程）

- ・現行の入試と同様に、二段階選抜を実施します。実施内容に変更はありません。
- ・大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストを利用します。教科・科目は、現行の入試と同様に、5教科・5科目または6科目を課します。
- ・大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。

国語……………「国語」必須

地理歴史・公民…「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、
「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目

数学……………「数学Ⅰ・数学A」必須

理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から2科目

または

「物理」、「生物」、「化学」から1科目

外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

- *地理歴史・公民、理科（基礎を付さない科目）の各教科で複数科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。（地理歴史・公民及び理科の取扱いは現行の入試と変更はありません。）
- *国語と数学については、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。
- *国語の記述式問題については、段階別成績表示を点数化し、マークシート式問題の得点に加点します。
- *数学の記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。
- *英語は、現行の入試と同様に、筆記及びリスニングを課します。

~~・英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。~~

~~出願資格は、文部科学省が公表しているCEFRの段階別成績表示による対照表のA2以上とします。~~

~~対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。~~

~~成績の確認は、成績提供システムを利用します。~~

~~成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。~~

- ・その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- ・個別選抜は、総合問題と面接を課します。総合問題については、現行の入試と異なり、AとBに分けずに実施します。論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題を含む出題を予定しています。
- ・出願書類は、現行の入試と同様の「調査書」に加え、新たに「総合的な評価のための申告書」の提出を求め、合否判定に活用します。
「総合的な評価のための申告書」とは、志願者が作成する、活動報告を含む大学入学希望理由書です。

(3) 学校推薦型選抜

- ・現行の入試で課している、総合問題AとBを廃止し、新たに小論文と大学入学共通テストを課し、二段階選抜を実施します。
- ・第一段階選抜として、小論文と面接を実施（11月下旬～12月上旬を予定）し、第一段階選抜の合格発表を行います。小論文では論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題の出題を予定しています。
- ・第二段階選抜として、大学入学共通テストを利用し、第一段階選抜の成績と合わせて合格発表を行います。大学入学共通テストの利用教科・科目は、3教科3科目または4科目を課します。
- ・大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。
数学……………「数学I・数学A」必須
理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から2科目
または
「物理」、「生物」、「化学」から1科目
外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

* 数学は、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。

* 理科（基礎を付さない科目）を複数科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。

* 英語は、筆記及びリスニングを課します。

~~・英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。~~

~~出願資格は、文部科学省が公表しているCEFRの段階別成績表示による対照表のA2以上とします。~~

~~対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。~~

~~成績の確認は、成績提供システムを利用します。~~

~~成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。~~

- その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- 出願書類は、現行の入試と同様に、「調査書」、「推薦書」、「自己を語る」の提出を求め、合否判定に活用します。

「推薦書」は学校長が作成し、志願者の学習や活動の成果を踏まえた学力の3要素（※1）に関する評価についての記載を求めることを予定しています。

「自己を語る」は志願者が作成する、活動報告を含む大学入学希望理由書です。